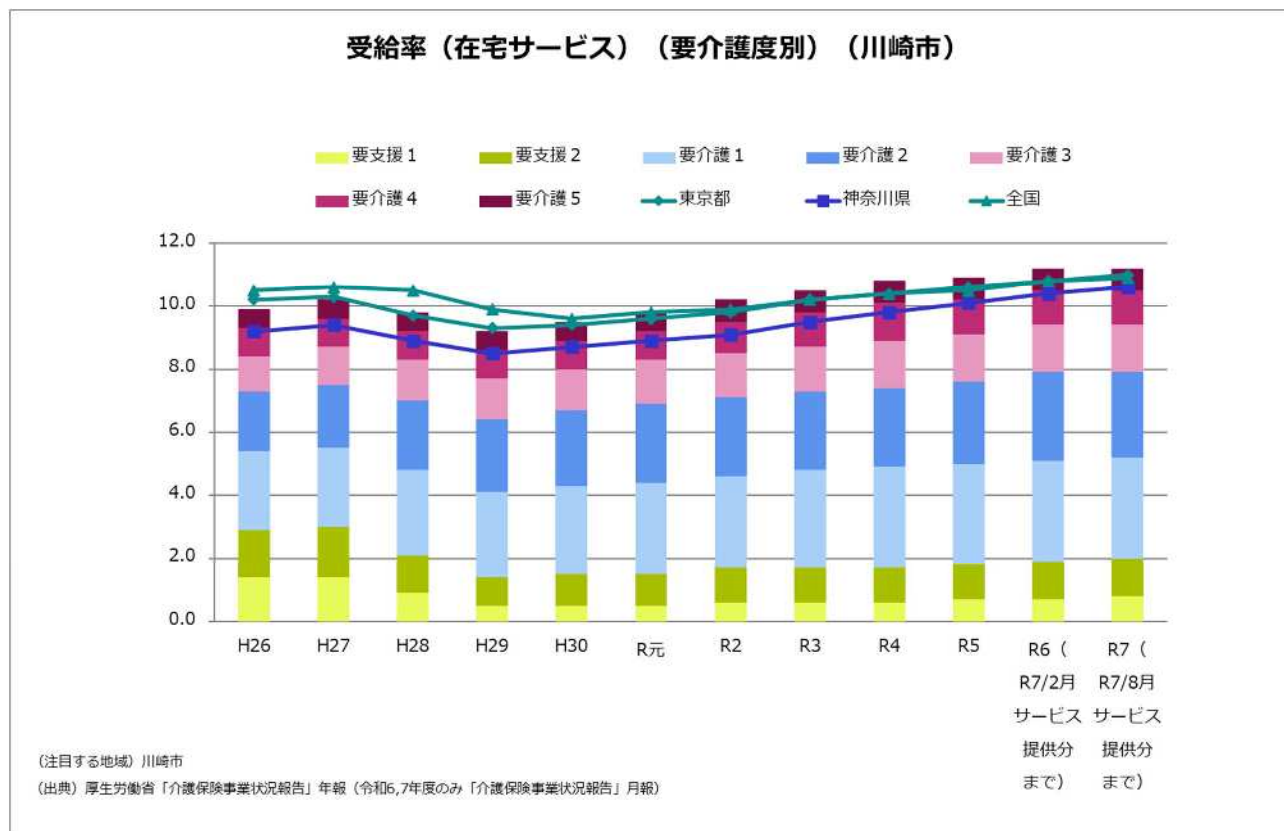


川崎市介護保険事業の特徴について

各種サービス毎の受給率について、全国平均や神奈川県平均、東京都平均との比較により、川崎市介護保険事業の特徴の把握と要因分析を行いました。

1 在宅サービス

川崎市介護保険における在宅サービスの受給率を東京都、神奈川県、全国と比較したものです。川崎市は他と比較して若干高めで推移していますが、同様のトレンドとなっています。

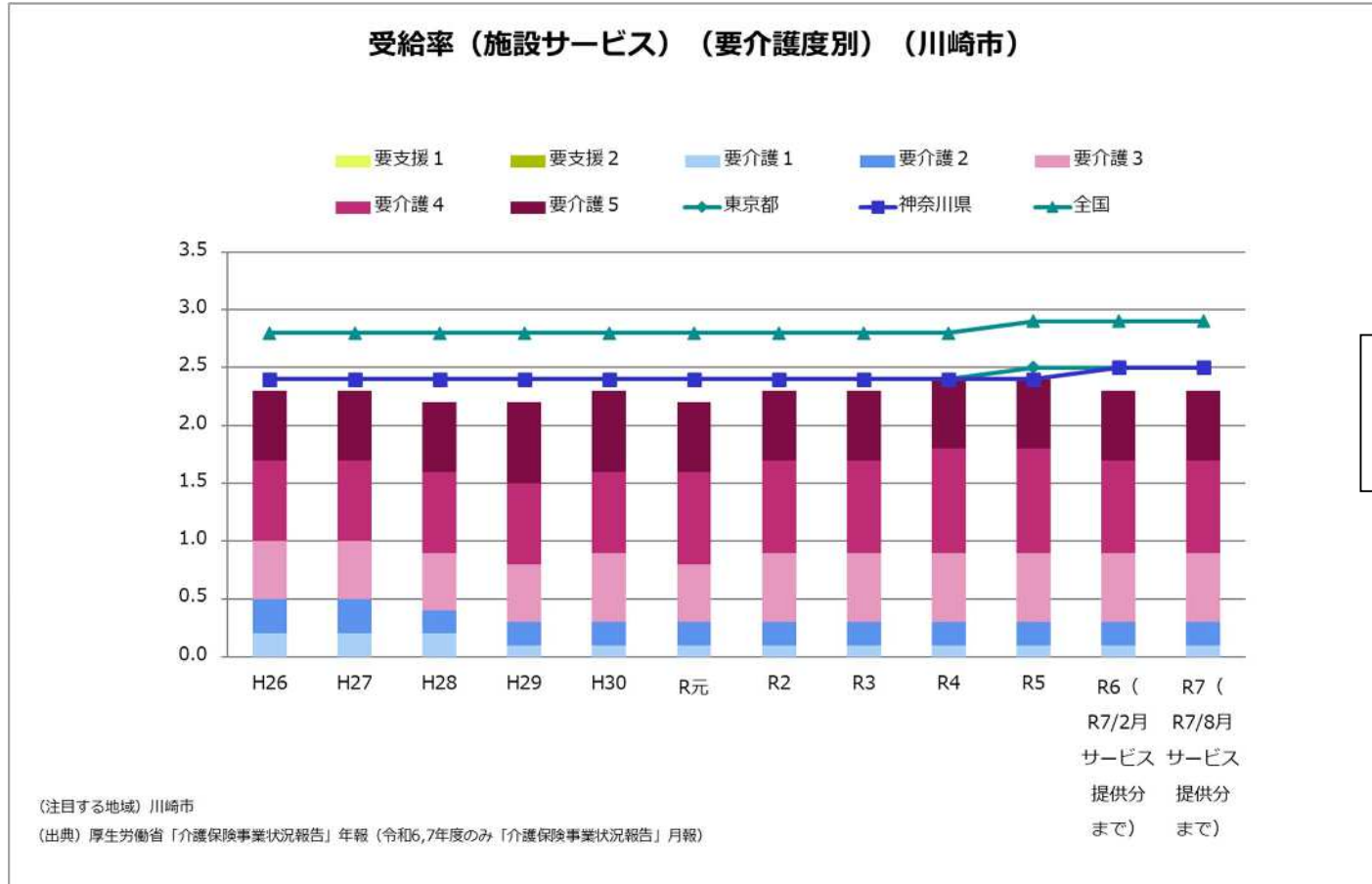


受給率：（当該サービスの受給者数の最新月までの総和を、第1号被保険者数で除した後、当該年度の月数で除した数）

在宅サービス：訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、短期入所療養介護（介護医療院）、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

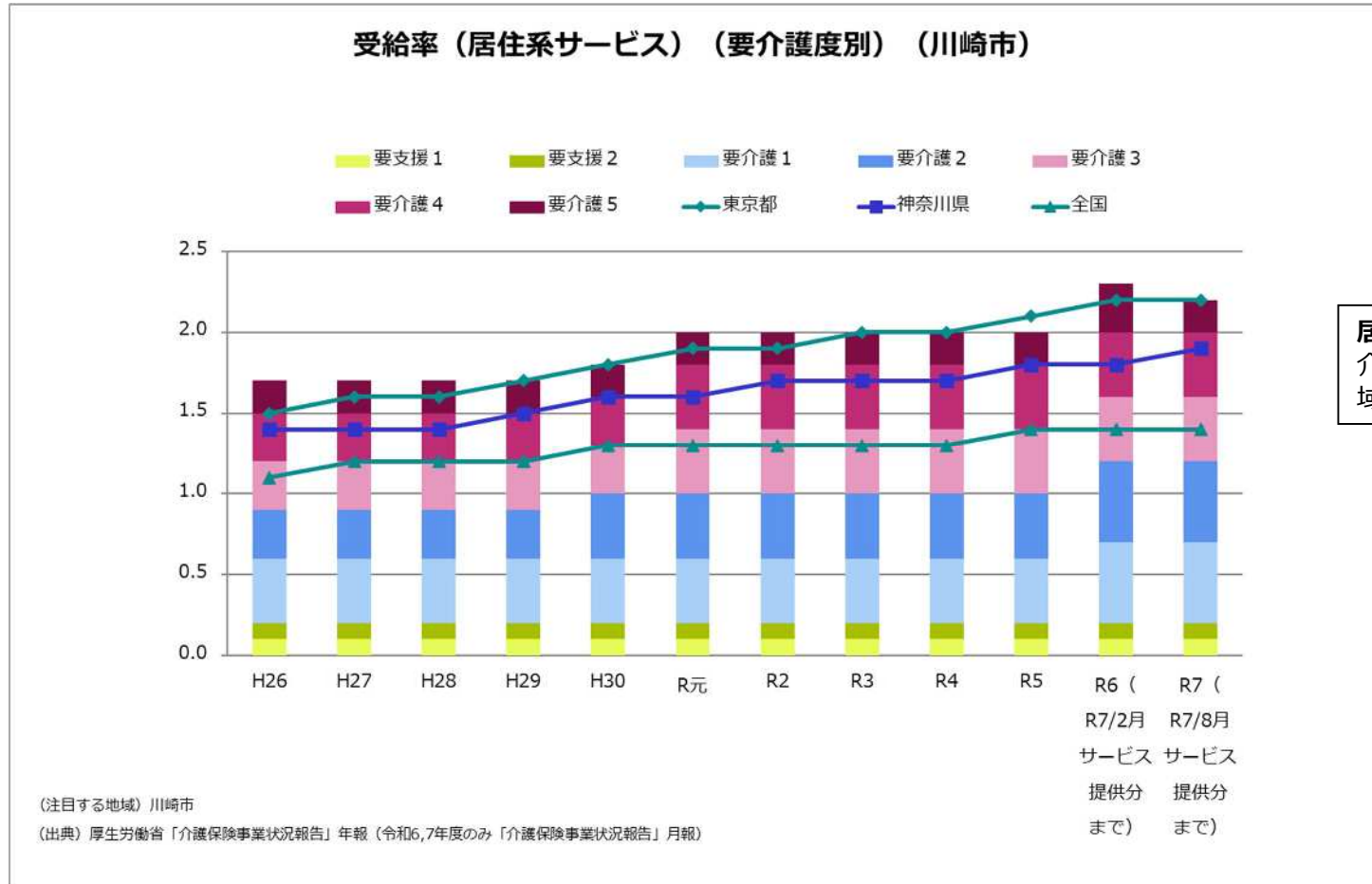
2 施設サービス

川崎市介護保険における施設サービスの受給率を東京都、神奈川県、全国と比較したものです。
川崎市、神奈川県、東京都は全国と比較して低めに推移しています。



3 居住系サービス

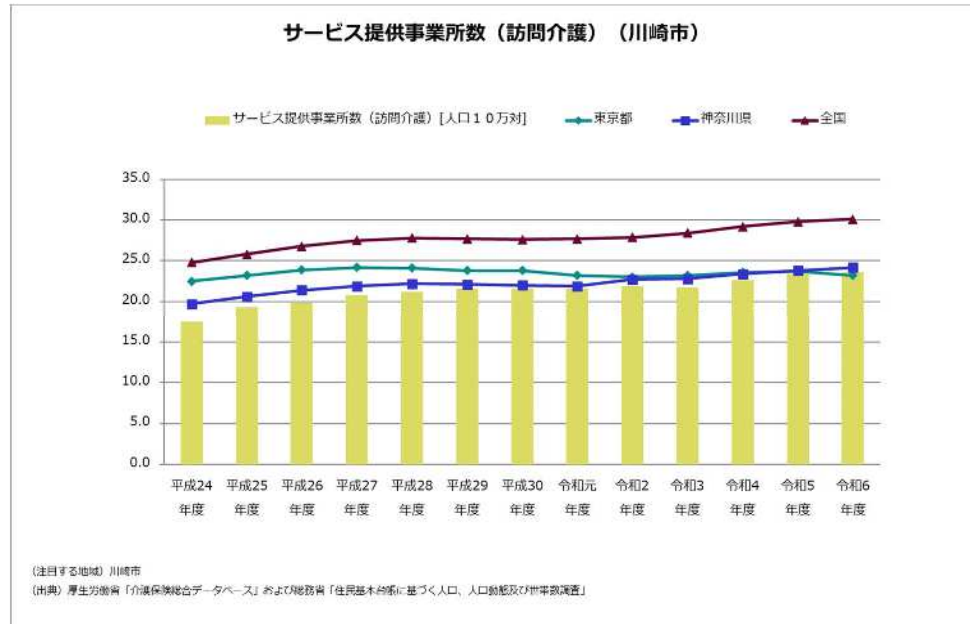
川崎市介護保険における居住系サービスの受給率を東京都、神奈川県、全国と比較したものです。
川崎市、神奈川県、東京都は全国と比較して高めに推移しています。



4 各サービス提供事業所数

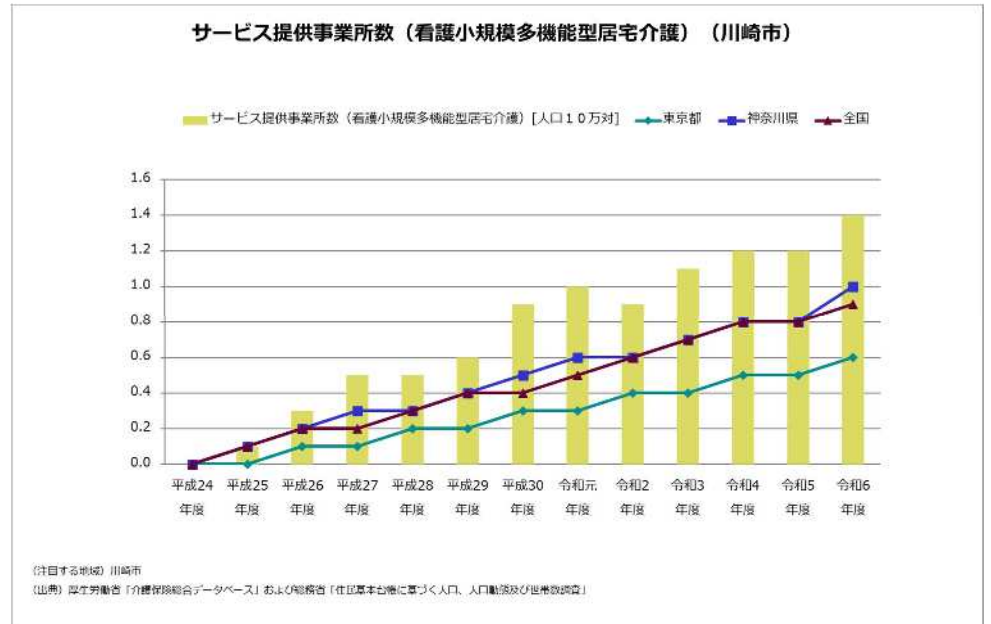
サービス系列ごとの川崎市と全国、東京都、神奈川県との違いについて、要因となりうる代表的なサービス提供事業所数について比較しました。

(1) 訪問介護事業所（在宅サービス）



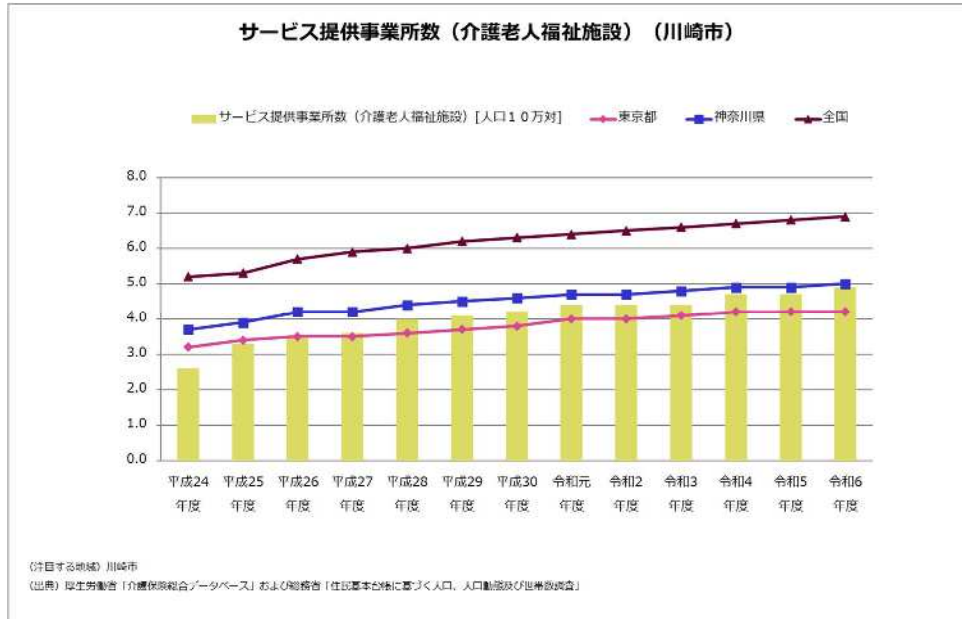
川崎市、東京都、神奈川県は全国と比べ、事業所数が少なく推移しています。

(2) 看護小規模多機能型居宅介護（在宅サービス）



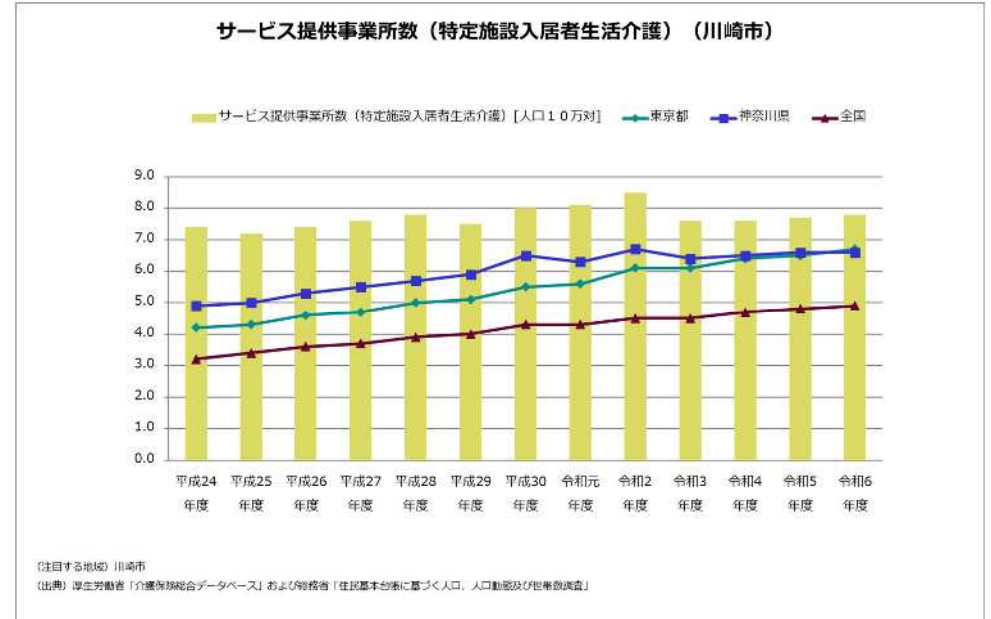
川崎市は他よりも事業所数が多くなっています。特に東京都と比較して2倍以上の事業所数となっています。

(3) 介護老人福祉施設（施設サービス）



川崎市、東京都、神奈川県は全国と比べ、事業所数が少なく推移しています。

(4) 特定施設入居者生活介護（居住系サービス）



川崎市は他と比べ、事業所数が多く、全国と比べると1.5倍程度多くなっています。

5 まとめ

(1) 各種サービス毎の受給率についての比較

川崎市の各種サービス毎の受給率については、在宅サービスは他をわずかに上回り、施設サービスは他を下回っており、居住系サービスは全国や神奈川県を上回り東京都と同程度の水準となっています。

(2) 各サービス提供事業所数

川崎市の代表的なサービス提供事業所の人口 10 万人対の事業所数については、在宅サービスにおいては訪問介護が全国を下回っており、看護小規模多機能型居宅介護については他と比較して多く、東京都と比べると 2 倍以上の事業所数となっています。

施設サービスにおいては介護老人福祉施設が全国を下回っています。

居住系サービスにおいては特定施設入居者生活介護が全国を 1.5 倍程度上回っています。

(3) まとめ

(1)、(2) より、各種サービスの受給率と各サービスの提供事業所数について、全国との違いがあることがわかりました。

また、神奈川県や東京都といった近隣の大都市地域と比較しても、受給率や提供事業所数に差があるものがあり、本市の地域性を踏まえながら、適切に各サービスの提供体制の構築や事業計画の策定が必要であると思われます。

川崎市における各指標のモニタリングについて

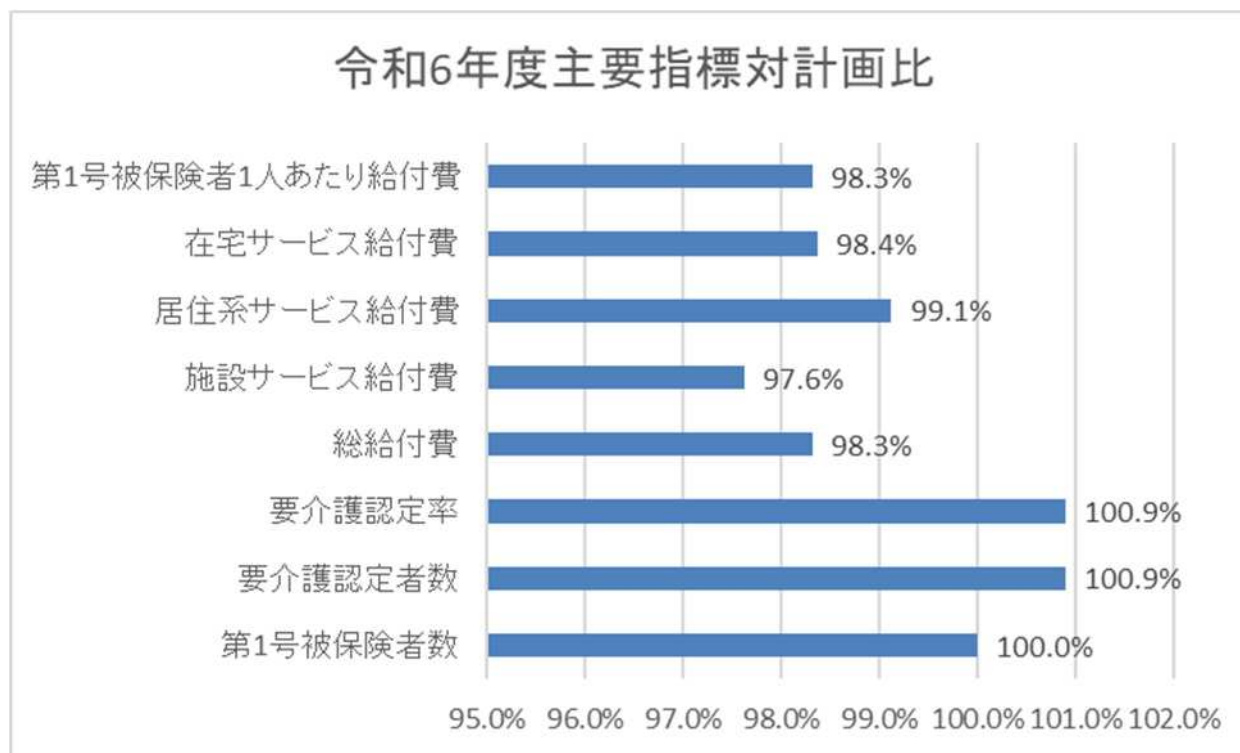
★モニタリングの目的

介護保険事業計画には、各サービスの見込量を記載しており、モニタリングにより計画値と実績値の乖離状況を可視化することで、次期介護保険事業計画の策定における課題等を整理することを目的に実施しています。

(1) 令和6年度主要指標対計画比

令和6年度の主要指標について、第9期計画の計画値に対する実績値の割合を示しています。

要介護認定率や要介護認定者数、第1号被保険者数は概ね計画と一致していますが、給付費についてはすべてのサービスにおいて計画値を下回っています。



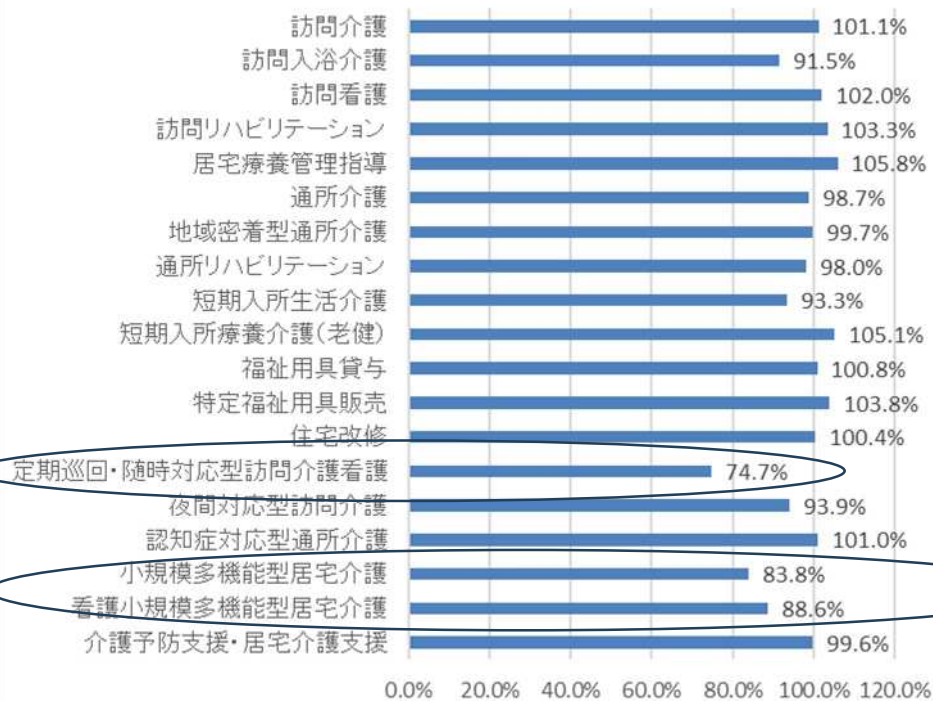
(2) 令和6年度サービス別対計画比

各サービスの給付費の対計画比をサービス種別ごとに示しています。

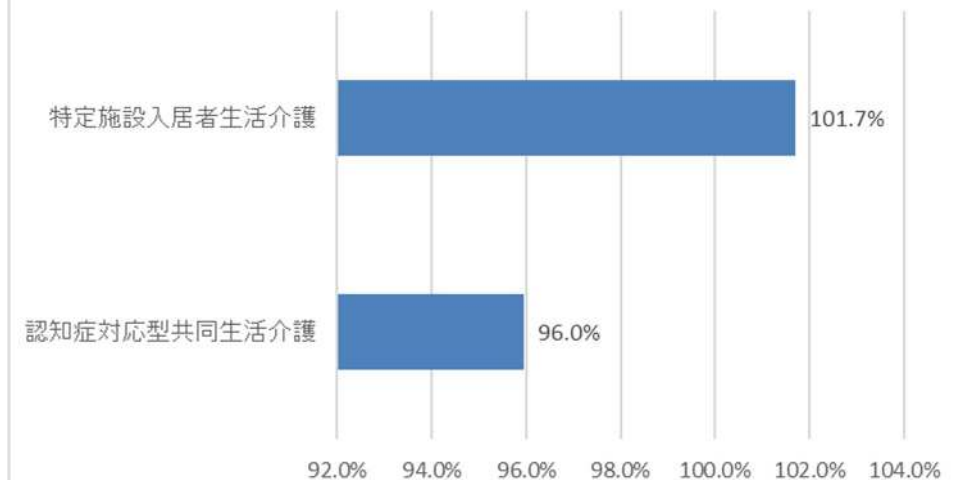
①在宅サービス給付費については「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」が大きく計画値を下回っています。

②居住系サービス給付費については「特定施設入居者生活介護」が計画値を上回っているほか、「認知症対応型共同生活介護」が計画値を下回っています。

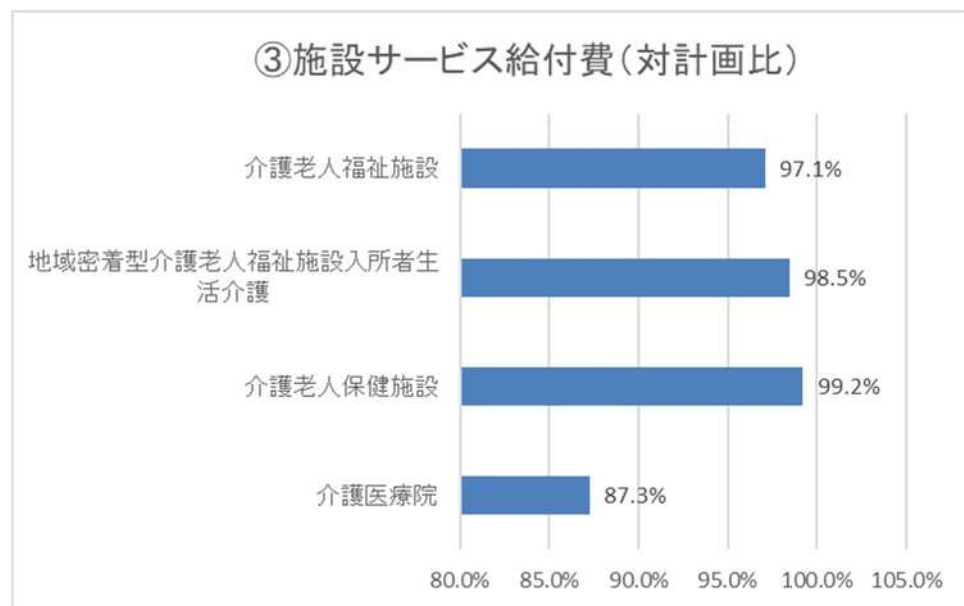
①在宅サービス給付費(対計画比)



②居住系サービス給付費(対計画比)



③施設サービス給付費については「介護医療院」が計画値を下回っています。



★まとめ

(1) 令和6年度主要指標対計画比

要介護認定率や要介護認定者数、第1号被保険者数は概ね計画と一致している一方、総給付費が計画値を下回っていることから、一人当たりの給付費が減少しているものと考えられます。

(2) 令和6年度サービス別対計画比

サービス毎に給付費を計画値と比較すると、計画値を超えているサービスがある一方で「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」、「介護医療院」など大きく計画値を下回っているサービスも確認できます。

次期計画においては、介護報酬の改定状況や市内におけるサービス需要を踏まえ、計画的なサービス提供体制の整備を盛り込んだうえで、適切なサービス見込量を推計することが必要です。

令和 8 年度保険者機能強化推進交付金について

1 概要

令和 8 年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金（以下、交付金という）に係る評価指標に関する評価結果を報告いたします。

2 交付金の概要

平成 29 年の地域包括ケア強化法において、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた保険者の取組や都道府県による保険者支援の取組が全国で実施されるよう、PDCA サイクルによる取組が制度化されたことに伴い、市町村や都道府県の高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取り組みを推進するために創設されたものです。

（1）介護保険保険者機能強化推進交付金とは

市町村における地域における自立した日常生活の支援、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び介護給付等に要する費用の適正化に関する取組を支援するため、国において取組の達成状況を評価できるよう客観的な指標を設定し、当該指標の点数に基づいて算定した額を交付する保険者機能強化推進交付金が創設されました。

（2）保険者努力支援制度交付金とは

公的保険制度における介護予防の位置付けを高めるため、保険者機能強化推進交付金に加え、介護保険保険者努力支援交付金（社会保障の充実分）を創設し、介護予防・健康づくり等に資する取組を重点的に評価することにより配分基準のメリハリ付けを強化しています。

（3）保険者機能強化推進交付金の算定について

保険者機能強化推進交付金はすべての指標を対象とし、保険者努力支援交付金は一部の指標を対象としています。交付金は、保険者機能強化推進交付金、保険者努力支援交付金それぞれの点数に基づいて算定した額が交付されます。

支援対象市町村の現状分析

↓ 都道府県を選択し、管内市町村を選択してください

神奈川県

川崎市

【基礎情報】

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
得点率	59.5%	62.7%	74.1%	64.8%	74.1%	72.9%
県内順位	11	5	3	6	2	3
全国順位	483	299	65	270	38	85
総人口	1,521,562	1,522,390	1,524,026	1,529,136	1,535,141	-
高齢者人口	304,412	306,645	307,698	309,823	311,986	-
高齢化率	20.0%	20.1%	20.2%	20.3%	20.3%	-

※R3-5は、推進+支援の得点

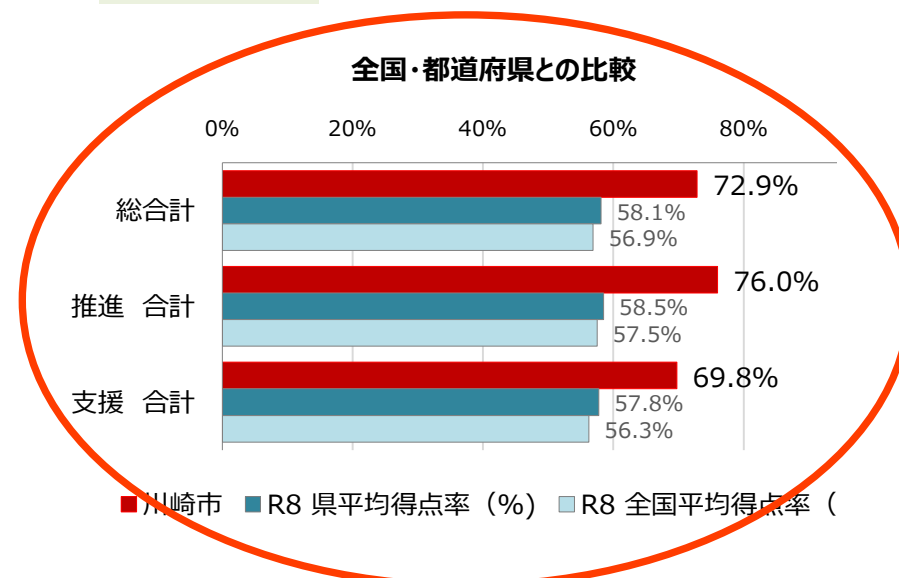
出典) 国立保健医療科学院「インセンティブ交付金指標分析ツール(令和8年度版)」より作成

項目		川崎市	R8 県平均得点率 (%)	R8 全国平均得点率 (%)
総合計		72.9%	58.1%	56.9%
推進 合計		76.0%	58.5%	57.5%
目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする	(i)体制・取組	100.0%	86.2%	81.8%
	(ii)活動	41.7%	26.0%	27.6%
	計	79.0%	64.5%	62.3%
目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する	(i)体制・取組	100.0%	76.0%	74.3%
	(ii)活動	62.5%	53.4%	58.4%
	計	88.0%	68.8%	69.2%
目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する	(i)体制・取組	100.0%	68.4%	66.7%
	(ii)活動	50.0%	22.2%	22.7%
	計	82.0%	51.8%	50.8%
目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む		55.0%	48.9%	47.8%
支援 合計		69.8%	57.8%	56.3%
目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する	(i)体制・取組	100.0%	72.6%	72.0%
	(ii)活動	50.0%	34.9%	42.5%
	計	76.0%	54.5%	57.8%
目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する	(i)体制・取組	92.2%	65.6%	59.1%
	(ii)活動	8.3%	32.3%	36.9%
	計	62.0%	53.6%	51.1%
目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する	(i)体制・取組	100.0%	82.2%	81.7%
	(ii)活動	56.3%	56.6%	40.0%
	計	86.0%	74.0%	68.3%
目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む		55.0%	48.9%	47.8%
推進 合計	(i)体制・取組	100.0%	76.9%	74.3%
	(ii)活動	51.0%	33.1%	35.4%
支援 合計	(i)体制・取組	97.3%	73.7%	71.1%
	(ii)活動	38.8%	40.1%	40.1%
総合計	(i)体制・取組	98.7%	75.3%	72.7%
	(ii)活動	44.5%	36.8%	37.9%

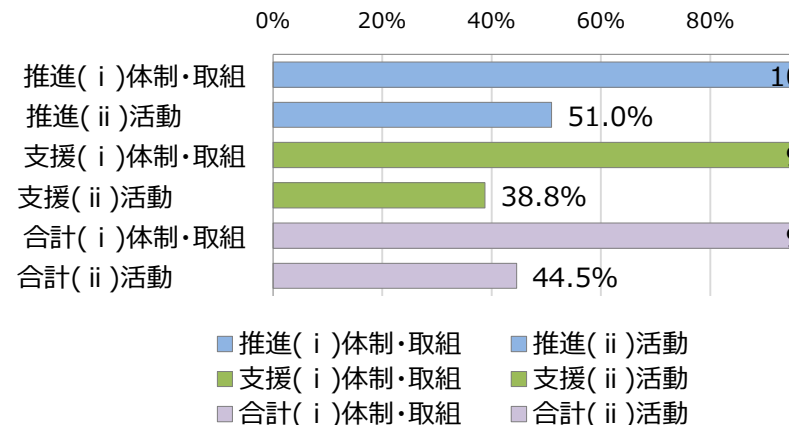
表示年度

R8年度結果

R6、R7、R8の選択が可能。



体制・取組指標群と活動指標群



【推進】目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする

評価項目一覧	配点	全国：該当市町村数	全国：3千人未満 該当市町村数	川崎市 R8結果	川崎市 R7結果	川崎市 R6結果
i 1 地域の介護保険事業の特徴を把握しているか。	##					
i ア 「地域包括ケア「見える化」システム」を活用し、サービス資源や給付費等の現状把握・分析等を行っている	4点	1,696	97.4	436	97.3	○
i イ 日常生活圏域別の特徴を把握・整理している	4点	1,634	93.9	416	92.9	○
i ウ 地域の介護保険事業の特徴を踏まえ、相談窓口やサービスの種類・内容、利用手続などについて、住民に周知を行っている	4点	1,638	94.1	424	94.6	○
i エ 地域の介護保険事業の特徴を公表している	4点	1,297	74.5	298	66.5	○
i 2 介護保険事業計画の進捗状況（介護サービス見込量の計画値と実績値の乖離状況）を分析しているか。	##					
i ア 毎年度、計画値と実績値の乖離状況について、モニタリングを行っている	4点	1,663	95.5	411	91.7	○
i イ モニタリングの結果を外部の関係者と共有し、乖離の要因やその対応策について、外部の関係者を含む議論の場で検証を行っている	4点	1,480	85.0	353	78.8	○
i ウ モニタリングの結果やイの検証を踏まえ、サービス提供体制について必要な見直しを行っている	4点	1,215	69.8	276	61.6	○
i エ モニタリングの結果を公表している	4点	1,125	64.6	226	50.4	○
i 3 自立支援、重度化防止等に関する施策について、実施状況を把握し、必要な改善を行っているか。	##					
i ア 毎年度、次の施策分野ごとに事業の実施状況を定量的に把握し、データとして整理・分析している	4点	1,693	97.2	411	91.7	○
i イ 次の施策分野ごとに事業の効果を検証するための評価指標を定めている	4点	1,582	90.9	353	78.8	○
i ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、次の施策分野ごとに課題の分析、改善・見直し等を行っている	4点	1,521	87.4	327	73.0	○
i エ 次の施策分野ごとにイの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	4点	1,259	72.3	230	51.3	○
① サービス・活動事業	4点					
ア 毎年度、次の施策分野ごとに事業の実施状況を定量的に把握し、データとして整理・分析している	1点	1,638	94.1	389	86.8	○
イ 次の施策分野ごとに事業の効果を検証するための評価指標を定めている	1点	1,413	81.2	308	68.8	○
ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、次の施策分野ごとに課題の分析、改善・見直し等を行っている	1点	1,342	77.1	285	63.6	○
エ 次の施策分野ごとにイの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	1点	1,100	63.2	205	45.8	○
② 一般介護予防事業	4点					
ア 毎年度、次の施策分野ごとに事業の実施状況を定量的に把握し、データとして整理・分析している	1点	1,675	96.2	404	90.2	○
イ 次の施策分野ごとに事業の効果を検証するための評価指標を定めている	1点	1,555	89.3	345	77.0	○
ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、次の施策分野ごとに課題の分析、改善・見直し等を行っている	1点	1,484	85.2	319	71.2	○
エ 次の施策分野ごとにイの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	1点	1,199	68.9	222	49.6	○
③ 認知症総合支援	4点					
ア 毎年度、次の施策分野ごとに事業の実施状況を定量的に把握し、データとして整理・分析している	1点	1,636	94.0	379	84.6	○
イ 次の施策分野ごとに事業の効果を検証するための評価指標を定めている	1点	1,501	86.2	314	70.1	○
ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、次の施策分野ごとに課題の分析、改善・見直し等を行っている	1点	1,439	82.7	295	65.8	○
エ 次の施策分野ごとにイの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	1点	1,186	68.1	217	48.4	○
④ 在宅医療・介護連携	4点					
ア 毎年度、次の施策分野ごとに事業の実施状況を定量的に把握し、データとして整理・分析している	1点	1,545	88.7	339	75.7	○
イ 次の施策分野ごとに事業の効果を検証するための評価指標を定めている	1点	1,358	78.0	265	59.2	○
ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、次の施策分野ごとに課題の分析、改善・見直し等を行っている	1点	1,306	75.0	253	56.5	○
エ 次の施策分野ごとにイの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	1点	1,102	63.3	197	44.0	○
i 4 保険者機能強化推進交付金等に係る評価結果を関係者間で共有し、自立支援、重度化防止等に関する施策の遂行に活用しているか。	##					
i ア 年に1回以上、評価結果を庁内の関係者間で説明・共有する場がある	4点	1,345	77.3	329	73.4	○
i イ アの場には、庁内のみならず、外部の関係者が参画している	4点	996	57.2	233	52.0	○
i ウ アの場における意見を、施策の改善・見直し等に活用している	4点	1,103	63.4	239	53.3	○
i エ 市町村において全ての評価結果を公表している	4点	712	40.9	132	29.5	○

ii 1 今年度の評価得点	##							
ii ア 上位7割	3点	1,222	70.2	211	47.1	○	○	○
ii イ 上位5割	3点	876	50.3	130	29.0	○	○	○
ii ウ 上位3割	3点	529	30.4	72	16.1	○	○	○
ii エ 上位1割	3点	176	10.1	24	5.4	○	○	×
ii 2 後期高齢者数と給付費の伸び率の比較	##							
ii ア 上位7割	3点	1,216	69.8	267	59.6	○	×	×
ii イ 上位5割	3点	869	49.9	192	42.9	×	×	×
ii ウ 上位3割	3点	521	29.9	125	27.9	×	×	×
ii エ 上位1割	3点	173	9.9	47	10.5	×	×	×
ii 3 PFS（成果連動型民間委託契約方式）による委託事業数	##							
ii ア 上位7割	3点	81	4.7	17	3.8	×	×	×
ii イ 上位5割	3点	81	4.7	17	3.8	×	×	×
ii ウ 上位3割	3点	24	1.4	6	1.3	×	×	×
ii エ 上位1割	3点	9	0.5	0	0.0	×	×	×

【推進】目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する

評価項目一覧	配点	全国：該当市町村数	全国：3千人未満 該当市町村数	川崎市 R8結果	川崎市 R7結果	川崎市 R6結果		
i 1 介護給付費の適正化に向けた方策を策定しているか。	##							
i ア 地域のサービス資源や給付費等の動向を把握し、他の地域とも比較・分析の上、介護給付費の適正化方策を策定している	8点	1,488	85.5	351	78.3	○	○	○
i イ 介護給付費の適正化方策に基づく取組の効果を検証するための評価指標を定めている	8点	1,424	81.8	319	71.2	○	○	○
i ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、取組の課題の分析、改善・見直し等を行っている	8点	1,231	70.7	270	60.3	○	○	○
i エ イの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	8点	975	56.0	189	42.2	○	○	○
i 2 介護給付費適正化事業を効果的に実施しているか。	##							
i ア 3事業の全てを実施している	6点	1,658	95.2	397	88.6	○	○	-
i イ 縦覧点検10帳票のうち、効果が高いと期待される4帳票をいくつ点検しているか	6点	1,666	95.7	418	93.3	○	○	○
i ウ ケアプラン点検の実施に当たって、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の入居者に係るものも含めている	8点	968	55.6	173	38.6	○	○	○
i エ 福祉用具の貸与後に、リハビリテーション専門職等が用具の適切な利用がなされているかどうかを点検する仕組みがある	8点	723	41.5	164	36.6	○	○	○
i オ 福祉用具購入費・住宅改修費の申請内容について、リハビリテーション専門職等がその妥当性を検討する仕組みがある	8点	1,037	59.6	230	51.3	○	○	○
ii 1 ケアプラン点検の実施割合	##							
ii ア 上位7割	4点	1,218	70.0	308	68.8	○	○	○
ii イ 上位5割	4点	870	50.0	245	54.7	×	×	×
ii ウ 上位3割	4点	522	30.0	165	36.8	×	×	×
ii エ 上位1割	4点	174	10.0	66	14.7	×	×	×
ii 2 医療情報との突合の実施割合	##							
ii ア 上位7割	4点	1,270	72.9	322	71.9	○	○	○
ii イ 上位5割	4点	1,270	72.9	322	71.9	○	○	○
ii ウ 上位3割	4点	1,270	72.9	322	71.9	○	○	○
ii エ 上位1割	4点	1,270	72.9	322	71.9	○	○	○

【推進】目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する

評価項目一覧	配点	全国：該当市町村数	全国：3千人未満 該当市町村数	川崎市 R8結果	川崎市 R7結果	川崎市 R6結果		
i 1 地域における介護人材の確保・定着のため、都道府県等と連携しつつ、必要な取組を実施しているか。	##							
i ア 地域における介護人材の現状や課題を把握し、これを都道府県や関係団体と共有している	6点	1,341	77.0	306	68.3	○	○	○
i イ 都道府県や関係団体の取組と協働した取組を行っている	6点	1,205	69.2	244	54.5	○	○	○
i ウ 市町村としての独自事業を実施している	6点	1,225	70.4	254	56.7	○	○	○
i エ イ又はウの取組の成果を公表している	6点	909	52.2	157	35.0	○	○	○
i オ 地域における介護人材の将来的な必要数の推計を行い、これを公表している	6点	325	18.7	46	10.3	○	○	○
i 2 地域におけるサービス提供体制の確保、自立支援・重度化防止、介護人材確保に関する施策の推進に当たり、市内・市外における関係各団体の連携体制が確保されているか	##							
i ア 介護・福祉関係部局や医療、住まい、就労関係部局など、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた庁内の連携を確保するための場又は規程がある	6点	1,404	80.6	334	74.6	○	○	○
i イ 都道府県や事業者、関係団体、専門職等外部の関係者との連携を確保するための場がある	6点	1,502	86.3	352	78.6	○	○	○
i ウ ア及びイの連携体制を、次の施策分野ごとの取組に活用している	##	1,467	84.3	346	77.2	○	○	○
① サービス・活動事業	2点	1,245	71.5	296	66.1	○	○	○
② 一般介護予防事業	2点	1,301	74.7	297	66.3	○	○	○
③ 認知症総合支援	2点	1,320	75.8	303	67.6	○	○	○
④ 在宅医療・介護連携	2点	1,336	76.7	304	67.9	○	○	○
⑤ 介護人材確保等	2点	946	54.3	205	45.8	○	○	○
i エ ア及びイによる連携体制を活用し、高齢者の住まいの確保と生活の一体的支援に関する取組を実施している	6点	643	36.9	156	34.8	○	○	○
i オ ア及びイによる連携体制を、重層的支援体制整備事業の実施や地域の誰もが参画できる場づくりなど、介護保険事業に留まらない地域づくりにも活用している	6点	672	38.6	133	29.7	○	○	×
ii 1 高齢者人口当たりの地域住民に対する介護の仕事の魅力を伝達するための研修の修了者数	##							
ii ア 上位7割	3点	542	31.1	53	11.8	○	○	○
ii イ 上位5割	3点	271	15.6	49	10.9	×	×	×
ii ウ 上位3割	3点	162	9.3	44	9.8	×	×	×
ii エ 上位1割	3点	54	3.1	19	4.2	×	×	×
ii 2 高齢者人口当たりの介護人材（介護支援専門員を除く。）の定着、資質向上を目的とした研修の修了者数	##							
ii ア 上位7割	3点	627	36.0	93	20.8	○	○	○
ii イ 上位5割	3点	313	18.0	74	16.5	×	×	×
ii ウ 上位3割	3点	188	10.8	59	13.2	×	×	×
ii エ 上位1割	3点	62	3.6	34	7.6	×	×	×
ii 3 介護支援専門員を対象としたケアマネジメントの質の向上に関する研修（介護支援専門員法定研修を除く。）の総実施日数	##							
ii ア 上位7割	3点	1,128	64.8	182	40.6	○	○	○
ii イ 上位5割	3点	666	38.3	89	19.9	○	○	○
ii ウ 上位3割	3点	360	20.7	48	10.7	○	○	○
ii エ 上位1割	3点	118	6.8	14	3.1	○	○	○

【推進 & 支援】目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む

評価項目一覧	配点	全国：該当市町村数	全国：3千人未満 該当市町村数	川崎市 R8結果	川崎市 R7結果	川崎市 R6結果
iii 1 軽度【要介護1・2】（平均要介護度の変化Ⅰ）短期的な要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	##					
iii ア 変化率の状況	##	732 42.0	183 40.8	○	×	×
iii イ 変化率の差	##	681 39.1	144 32.1	×	○	○
iii 2 軽度【要介護1・2】（平均要介護度の変化Ⅱ）長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	##					
iii ア 全保険者の上位7割	5点	1,218 70.0	250 55.8	○	○	×
iii イ 全保険者の上位5割	5点	870 50.0	182 40.6	○	○	×
iii ウ 全保険者の上位3割	5点	522 30.0	139 31.0	×	×	×
iii エ 全保険者の上位1割	5点	174 10.0	68 15.2	×	×	×
iii 3 中重度【要介護3～5】（平均要介護度の変化Ⅰ）短期的な要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	##					
iii ア 変化率の状況	##	744 42.7	123 27.5	○	○	×
iii イ 変化率の差	##	662 38.0	204 45.5	×	×	○
iii 4 中重度【要介護3～5】（平均要介護度の変化Ⅱ）長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	##					
iii ア 全保険者の上位7割	5点	1,218 70.0	238 53.1	○	○	○
iii イ 全保険者の上位5割	5点	870 50.0	177 39.5	○	○	○
iii ウ 全保険者の上位3割	5点	522 30.0	112 25.0	○	○	×
iii エ 全保険者の上位1割	5点	174 10.0	48 10.7	×	×	×
iii 5 健康寿命延伸の実現状況 要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのようになっているか。	##					
iii ア 認定率	##	728 41.8	148 33.0	×	×	×
iii イ 認定率の変化率	##	807 46.4	258 57.6	○	×	○

【支援】目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する

評価項目一覧	配点	全国：該当市町村数	全国：3千人未満 該当市町村数	川崎市 R8結果	川崎市 R7結果	川崎市 R6結果
i 1 サービス・活動事業及び一般介護予防事業の実施に当たって、データを活用して課題の把握を行っているか。	6点					
i ア 介護予防のケアプランや要介護認定の調査票等を確認している	1点	1,504	86.4	412	92.0	○
i イ K D B や見える化システム等既存のデータベースやシステムを活用している	1点	1,526	87.7	385	85.9	○
i ウ 毎年度、ア又はイのデータを活用して課題の分析・共有を行っている	2点	1,349	77.5	313	69.9	○
i エ データに基づく課題分析等の結果を施策の改善・見直し等に活用している	2点	1,176	67.5	255	56.9	○
i 2 通いの場やボランティア活動その他の介護予防に資する取組の推進を図るため、アウトリーチ等の取組を実施しているか。	9点					
i ア 通いの場への参加促進を図るための課題を把握・分析している	1点	1,618	92.9	409	91.3	○
i イ 通いの場に参加していない者の健康状態や生活状況、医療や介護サービスの利用状況等を定量的に把握し、データとして整理・分析している	2点	1,275	73.2	334	74.6	○
i ウ ア及びイを踏まえ、通いの場を含む介護予防に資する取組に対して、次のような具体的なアプローチを行っている	4点	1,531	87.9	370	82.6	○
i ① 通いの場に参加していない者の居宅等へのアウトリーチに関する取組	1点	1,333	76.6	331	73.9	○
i ② 医療機関等が通いの場等への参加を促す仕組みの構築	1点	1,045	60.0	244	54.5	○
i ③ 介護予防に資する取組やボランティアへの参加に対するポイント付与の実施	1点	1,033	59.3	212	47.3	○
i ④ ③のポイント事業参加者の健康状態等のデータベース化	1点	406	23.3	93	20.8	○
i エ 毎年度、ウの取組の成果を分析し、取組の改善・見直し等を行っている	2点	1,027	59.0	219	48.9	○
i 3 介護予防等と保健事業を一体的に実施しているか。	7点					
i ア 通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	1点	1,670	95.9	409	91.3	○
i イ 通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて医療機関等による早期介入（個別支援）につなげる仕組みを構築している	2点	1,461	83.9	348	77.7	○
i ウ 現役世代の生活習慣病対策と、介護予防とが連携した取組を実施している	2点	1,339	76.9	291	65.0	○
i エ 毎年度、一体的実施の成果を分析し、取組の改善・見直し等を行っている	2点	1,429	82.1	280	62.5	○
i 4 通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、サービス・活動事業及び一般介護予防事業の内容等の検討を行っているか。	7点					
i ア 通いの場の参加者の健康状態を継続的・定量的に把握する体制が整っている	1点	1,515	87.0	367	81.9	○
i イ 毎年度、経年的な評価や分析等を行っている	2点	1,330	76.4	300	67.0	○
i ウ 行政以外の外部の関係者の意見を取り入れている	1点	1,255	72.1	282	62.9	○
i エ 通いの場の参加者の意見を取り入れている	1点	1,295	74.4	297	66.3	○
i オ 分析結果等をサービス内容の充実等に活用している	2点	1,103	63.4	238	53.1	○
i 5 地域におけるリハビリテーションの推進に向けた具体的な取組を行っているか。	7点					
i ア 国が示すリハビリテーションサービス提供体制に関する指標を現状把握や施策の検討に活用し、リハビリテーションに関する目標を市町村介護保険事業計画に設定している	1点	831	47.7	182	40.6	○
i イ 郡市区医師会等の関係団体と連携して協議の場を設置し、介護予防の場や介護事業所にリハビリテーション専門職等が関与する仕組みを設けている	2点	1,352	77.7	289	64.5	○
i ウ リハビリテーション専門職を含む医療専門職を介護予防の場や地域ケア会議等に安定的に派遣するための具体的な内容を議論するなど、イの協議の場を活用している	2点	1,213	69.7	238	53.1	○
i エ 毎年度、取組内容の成果を分析し、改善・見直し等を行い、公表している	2点	741	42.6	138	30.8	○
i 6 生活支援コーディネーターの活動等により、地域のニーズを踏まえた介護予防・生活支援の体制が確保されているか。	9点					
i ア 地域における生活支援・介護予防サービス等の提供状況、地域資源、利用者数の推移、心身及び生活状況の傾向、高齢者の地域の担い手としての参画状況等を把握	1点	1,515	87.0	330	73.7	○
i イ アで整理したデータを、地域住民や関係団体等に提供・説明している	1点	1,365	78.4	284	63.4	○
i ウ アで整理したデータを踏まえ、生活支援コーディネーターとともに、協議体を活用しながら、地域の課題を分析・評価している	1点	1,264	72.6	261	58.3	○
i エ ウの分析・評価を踏まえ、市町村として、生活支援・介護予防サービスの推進方策を策定し、関係者に周知している	2点	928	53.3	189	42.2	○
i オ エの推進方策を策定する際に、庁内の高齢者施策以外の部門と連携し、様々な分野の多様な主体と連携することを含めて検討を行っている	2点					
i カ エで策定した市町村としての推進方策を定期的に見直し、関係者に周知する仕組みがある	2点	832	47.8	162	36.2	○

i	7	多様なサービス・活動の活用の推進に向け、実施状況の調査・分析・評価を行っているか。	7点									
i		ア 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの実施状況、地域資源、利用者数の推移、心身及び生活状況の傾向のほか、現状では対応が困難な地域の困り事等を	1点	1,380	79.3	320	71.4	○	○	○		
i		イ 介護予防・日常生活支援総合事業の利用者等の意見を取り入れる仕組みを整えている	1点	1,043	59.9	241	53.8	○	○	-		
i		ウ アで整理したデータ又はイの意見を踏まえ、多様なサービスの推進に向け、地域の課題を分析・評価・共有している	1点	1,142	65.6	254	56.7	○	○	○		
i		エ ウの分析・評価を踏まえ、多様なサービスの推進に向け、市町村としての推進方策を策定し、関係者に周知している	1点	880	50.5	171	38.2	○	○	○		
i		オ エの推進方策の策定にあたり、多様なサービスの対象者モデルの提示や、第一号介護予防支援事業における目標指向型のケアマネジメントの取組を評価する仕組みを整えている	1点	445	25.6	73	16.3	○	○	-		
i		カ ア～オのプロセスを踏まえ、エで策定した市町村としての推進方策を定期的に改善・見直し等を行う仕組みがある	2点	673	38.7	125	27.9	○	○	○		
ii	1	高齢者人口当たりの地域包括支援センターに配置される3職種の人数	4点									
ii		ア 上位7割	1点	1,218	70.0	443	98.9	○	○	○		
ii		イ 上位5割	1点	870	50.0	428	95.5	×	×	×		
ii		ウ 上位3割	1点	522	30.0	390	87.1	×	×	×		
ii		エ 上位1割	1点	174	10.0	172	38.4	×	×	×		
ii	2	地域包括支援センター事業評価の達成状況	##									
ii		ア 家族介護者支援を含む総合相談支援・権利擁護業務	4点	1,218	70.0	208	46.4	○	○	○		
ii		イ 介護予防の推進・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務・事業間連携に関する業務	4点	1,250	71.8	205	45.8	○	○	○		
ii		ウ 地域ケア会議に関する業務	4点	1,239	71.2	239	53.3	○	○	○		
ii	3	地域ケア会議における個別事例の検討割合（個別事例の検討件数／受給者数）	4点									
ii		ア 上位7割	1点	1,218	70.0	359	80.1	×	×	×		
ii		イ 上位5割	1点	870	50.0	303	67.6	×	×	×		
ii		ウ 上位3割	1点	526	30.2	240	53.6	×	×	×		
ii		エ 上位1割	1点	186	10.7	120	26.8	×	×	×		
ii	4	通いの場への65歳以上高齢者の参加率	8点									
ii		ア 週一回以上の通いの場への参加率	4点	1,218	70.0	266	59.4	○	○	○		
ii		イ 週一回以上の通いの場への参加率の変化率	4点	1,218	70.0	226	50.4	○	○	○		
ii	5	高齢者のポイント事業への参加率	4点									
ii		ア 上位7割	1点	1,040	59.7	226	50.4	○	○	○		
ii		イ 上位5割	1点	520	29.9	169	37.7	○	×	×		
ii		ウ 上位3割	1点	312	17.9	119	26.6	×	×	×		
ii		エ 上位1割	1点	104	6.0	50	11.2	×	×	×		
ii	6	通いの場等において心身・認知機能を維持・改善した者の割合	4点									
ii		ア 上位7割	1点	1,098	63.1	288	64.3	○	○	○		
ii		イ 上位5割	1点	549	31.5	176	39.3	○	○	○		
ii		ウ 上位3割	1点	329	18.9	131	29.2	○	×	×		
ii		エ 上位1割	1点	142	8.2	64	14.3	×	×	×		
ii	7	高齢者人口当たりの生活支援コーディネーター数	4点									
ii		ア 上位7割	1点	1,218	70.0	389	86.8	○	○	○		
ii		イ 上位5割	1点	870	50.0	389	86.8	○	○	○		
ii		ウ 上位3割	1点	523	30.0	323	72.1	○	○	○		
ii		エ 上位1割	1点	174	10.0	141	31.5	×	×	×		
ii	8	生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加割合	4点									
ii		ア 上位7割	1点	1,312	75.4	329	73.4	○	○	×		
ii		イ 上位5割	1点	1,001	57.5	291	65.0	○	○	×		
ii		ウ 上位3割	1点	1,001	57.5	291	65.0	○	○	×		
ii		エ 上位1割	1点	1,001	57.5	291	65.0	○	○	×		

ii 9 総合事業における多様なサービスの実施状況	4点								
ii ア 第一号訪問事業及び第一号通所事業実施事業所・団体数に占める多様なサービス実施事業所・団体数の割合	4点	528	30.3	139	31.0	×	×	×	
ii イ 第一号訪問事業及び第一号通所事業の実利用者数に占める多様なサービスに係る実利用者数の割合	4点	275	15.8	59	13.2	×	×	×	
ii ウ 第一号訪問事業及び第一号通所事業の事業費に占める多様なサービスに係る事業費の割合	4点	635	36.5	117	26.1	○	○	○	
ii エ 人口1万人未満の市町村であって、生活支援体制整備事業を活用し、インフォーマルサービス（住民主体の支え合い活動を含む。）を実施している場合	1点	25	1.4	19	4.2	×	×	×	

【支援】目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する

評価項目一覧	配点	全国：該当市町村数	全国：3千人未満 該当市町村数	川崎市 R8結果	川崎市 R7結果	川崎市 R6結果
i 1 認知症サポーター等を活用した地域支援体制の構築及び社会参加支援を行っているか。	##					
i ア 認知症の人の声を聞く機会（本人ミーティング、活動場所への訪問など）を設けている	4点	1,364	78.3	279	62.3	○
i イ 成年後見制度利用支援事業に関し、対象を市町村長申立や生活保護受給者に限定しない要綱等を整備している	4点	1,262	72.5	263	58.7	○
i ウ 認知症サポーター等による支援チーム等の活動グループ（チームオレンジなど）を設置している	4点	1,105	63.5	181	40.4	○
i エ 認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につながるよう、ウによる活動グループを含む地域の担い手とのマッチングを行っている	4点	709	40.7	105	23.4	○
i オ 認知症の人が希望に応じて農業、商品の製造・販売、食堂の運営、地域活動やマルシェの開催等に参画できるよう、支援している	4点	439	25.2	59	13.2	○
i カ 認知症の人及び家族等の意見を踏まえた市町村認知症施策推進計画の策定に着手している	5点			○		
i 2 認知症のある人に対して、専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げるための体制を構築しているか。	##					
i ア 認知症に関わる医療機関や認知症初期集中支援チームの周知を行っている	4点	1,655	95.1	378	84.4	○
i イ 認知症に対応できるかかりつけ医や認知症サポート医、認知症疾患医療センター等の医療機関と連携した取組を行っている	5点	1,630	93.6	381	85.0	○
i ウ 認知症に関わる情報連携ツール等を活用して、関係者間で連携ルールを策定している	5点	1,052	60.4	207	46.2	○
i エ アからウまでを踏まえ、医療・介護専門職による早期対応や早期診断に繋げる体制づくりを構築した上で、実際に運用を図っている	5点	1,174	67.4	229	51.1	○
i 3 難聴高齢者の早期発見・早期介入に係る取組を行っているか。	##					
i ア 普及啓発の取組を行っているか	5点	828	47.6	154	34.4	○
i イ 早期発見の取組を行っているか	5点	521	29.9	120	26.8	○
i ウ 受診状況の把握と未受診者への再度の受診勧奨を行っているか	5点	150	8.6	40	8.9	○
i エ 受診勧奨者のうち50%以上の者が受診しているか	5点	52	3.0	13	2.9	×
ii 1 高齢者人口当たりの認知症サポーター数	##					
ii ア 上位7割	3点	1,218	70.0	276	61.6	×
ii イ 上位5割	3点	870	50.0	206	46.0	×
ii ウ 上位3割	3点	522	30.0	134	29.9	×
ii エ 上位1割	3点	174	10.0	62	13.8	×
ii 2 高齢者人口当たりの認知症サポーターステップアップ講座修了者数	##					
ii ア 上位7割	3点	603	34.6	57	12.7	○
ii イ 上位5割	3点	301	17.3	53	11.8	×
ii ウ 上位3割	3点	180	10.3	48	10.7	×
ii エ 上位1割	3点	60	3.4	23	5.1	×
ii 3 認知症地域支援推進員が行っている業務の状況	##					
ii ア 上位7割	3点	1,445	83.0	338	73.4	×
ii イ 上位5割	3点	1,149	66.0	254	56.7	×
ii ウ 上位3割	3点	742	42.6	150	33.5	×
ii エ 上位1割	3点	376	21.6	68	15.2	×

【支援】目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する

評価項目一覧	配点	全国：該当市町村数	全国：3千人未満 該当市町村数	川崎市 R8結果	川崎市 R7結果	川崎市 R6結果
i 1 地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータ等に基づき、在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか。 ##						
ア 今後のニーズを踏まえ、①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取りの4つの場面ごとに、在宅医療と介護の提供体制の目指すべき姿を設定している	5点	1,185	68.1	272	60.7	○ ○ ○
イ 在宅医療と介護の提供体制の目指すべき姿を介護保険事業計画に記載している	6点	1,612	92.6	392	87.5	○ ○ ○
ウ 地域の人口推計を踏まえた今後のニーズや医療・介護資源、社会資源や利用者の情報、住民の意向等を定量的な情報も含めて把握している	5点	1,270	72.9	281	62.7	○ ○ ○
エ アとウの差の確認等により抽出された課題を踏まえ、地域の特性を踏まえた目標の設定、具体的な対応策を立案している	5点	909	52.2	176	39.3	○ ○ ○
オ 評価指標等に基づき事業の検証や必要に応じた見直しを行う仕組みを設けている	5点	965	55.4	178	39.7	○ ○ ○
i 2 在宅医療と介護の連携の強化・推進に向け、相談支援、研修会の開催といった具体的取組を行っているか。 ##						
ア 在宅医療と介護の連携の強化・推進に向け、医療・介護関係者のニーズを把握している	5点	1,643	94.4	396	88.4	○ ○ ○
イ 医療・介護関係者のニーズを踏まえ、次のような取組を実施している。	6点	1,670	95.9	396	88.4	○ ○ ○
① 医療・介護関係者に対する相談窓口の設置	2点	1,585	91.0	360	80.4	○ ○ ○
② 定期的な相談内容等の取りまとめ、その結果の医療・介護関係者間での共有	2点	1,429	82.1	326	72.8	○ ○ ○
③ 多職種を対象とした参加型の研修会の実施	2点	1,567	90.0	330	73.7	○ ○ ○
ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている	5点	1,382	79.4	278	62.1	○ ○ ○
エ 毎年度、課題分析や医療・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている	5点	1,327	76.2	266	59.4	○ ○ ○
i 3 患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が実施できるよう、具体的な取組を行っているか。 ##						
ア 医療・介護関係者の情報共有の実施状況を把握している	5点	1,635	93.9	410	91.5	○ ○ ○
イ 実施状況等を踏まえ、在宅での看取りや入退院時等に活用できるような医療・介護関係者の情報共有ツールの作成等情報共有円滑化のための取組を実施している	6点	1,555	89.3	364	81.3	○ ○ ○
ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている	5点	1,328	76.3	280	62.5	○ ○ ○
エ 毎年度、課題分析や医療・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて情報共有ツール等の改善・見直し等を行っている	5点	1,284	73.8	274	61.2	○ ○ ○
ii 1 入退院支援の実施状況 ##						
ii ア 入院時情報連携加算算定者数割合（要介護認定者数における割合）	8点	1,218	70.0	293	65.4	× × ×
ii イ 退院・退所加算算定者数割合（要介護認定者数における割合）	8点	1,218	70.0	201	44.9	○ ○ ○
ii 2 人生の最終段階における支援の実施状況 ##						
ii ア 在宅ターミナルケアを受けた患者数割合（管内死亡者数における割合）	8点	1,218	70.0	201	44.9	○ ○ ○
ii イ 看取り加算算定者数割合（管内死亡者数における割合）	8点	1,218	70.0	200	44.6	○ ○ ○